

## 情報・システム研究機構教育研究評議会（令和2年度第5回）議事要旨

日 時：令和2年10月19日（月）15：30～17：30

形 式：Web会議

出席者：岡田清孝評議員、栗原孝次評議員、徳田英幸評議員、鳥海光弘評議員、ベントン・キャロライン評議員、安成哲三評議員、藤井良一評議員（議長）、津田敏隆評議員、喜連川優評議員、椿広計評議員、坂口広志評議員、中村卓司評議員、花岡文雄評議員、藤山秋佐夫評議員、野木義史評議員（極地研）、相澤彰子評議員（情報研）、伊藤聡評議員（統数研）、仁木宏典評議員（遺伝研）

オブザーバー：吉武博通監事、門田隆太郎監事

陪席者：本部事務局・研究所事務担当者

○議事に先立ち、9月1日に着任した新監事の紹介があった。

○前回議事要旨の確認に伴い、第3回評議会の審議事項（1）において質問があった「ハラスメント等の事情聴取、調査結果に不服申し立てをする機会があるのか。」に対し、現状の報告を行い、今後の改定等を検討する旨の説明を行った。

議 事：

### 【審議事項】

（1）情報・システム研究機構組織運営規則の一部改正について

坂口評議員より、資料1-1、1-2に基づき説明があり、審議の結果、役員会にて審議することが了承された。

（2）令和元年度外部評価結果に対する取組について

津田評議員より、資料2-1～2-3に基づき説明があり、審議の結果、役員会にて審議することが了承された。

<意見概要>

●遺伝研が中心になってオールジャパンの体制を作るとのことだが、他にも同じことを考えている研究所があると思う。バラバラになったのでは予算も限られるし内容も包括的ではなくなるため、しっかりした体制を作ることが必要ではないか。

→オールジャパンの体制を考えている様々な研究所等と連携を取りながら進めたい。

●「選択と集中ではなく、組織の規模を拡大していく」とあるが、具体的にどのように拡大していくつもりなのか。

また、縮減していく予算をどうするのか。

→共同研究、共同利用する幅を広げていくという形を考えている。また、予算縮減の中の拡大については、全国の大学の関係する機関を巻き込んで活動の規模を大きくすることが

挙げられる。

●若手、中堅を中心とした勉強会なり人材育成コミュニティが随分育っているのではないかと思うが、それを取り込むとか支援するということが大事ではないかと思うがいかがか。

→人材育成という点では、総研大等を通じた人材育成やデータサイエンスの人材育成を次期中期計画以降、やっていかなければならないという状況にある。

●統数研の人材育成に関連して、棟梁レベルの人材を育成するためには、そういう研究をやりたい、という人材を増やす必要がある。機構が若い世代の人材を育成してはどうか。

→現在、統数研では初等中等教育の教材研究等は行ってはいないが、指導要領の改訂や初中等の教員の研究会に行くというところはかなり頻繁に行っている。初等中等教育の教員とつながりを持ち一緒に指導する、という流れになっている。

●高度人材育成に関して、高度人材を育成するためのカリキュラムやトレーニングプログラムなどを大学とは異なる視点で作る、その後の企業との連携結果も含め大学側にフィードバックするのがよいのではないか。

→教育機関がグッドプラクティスを共有できるようなデータの提供は非常に重要だと考えている。統計局が作った教育用標準データセットにはない不完全性等があるもう少し難易度の高いデータをどう作るか、それらを今後検討していくためのコンソーシアム等を形成する必要があると考える。

●異分野の連携、共同研究が大事になってくると思うが、大学共同利用機関として、例えば、大学から教員を受け入れ、異分野交流を進める仕組みを作ってはどうか。

→研究者交流プログラム、交流促進プログラムといった取り組みは長年行っており、これらの受入れ拡大、一層の促進をしていけたらと考えている。

#### 【報告事項】

##### (1) 研究教育職員に係る人事異動について

議長より資料3に基づき説明があり、研究教育職員の人事異動について報告された。

##### (2) 第3期中期目標期間における施設・環境整備及び教育・研究プロジェクト計画について

坂口評議員より資料4-1、4-2に基づき説明があり、各研究所の施設・環境整備及び教育・研究プロジェクト計画の見直し結果について報告された。

##### (3) 令和2年度(2020年度)補正予算(一般経費)について

坂口評議員より資料5-1、5-2に基づき説明があり、令和2年度の補正予算について

て報告された。

(4) 令和元年度決算について

坂口評議員より資料6-1～6-4に基づき説明があり、令和元年度の決算について報告された。

(5) 財務状況の解説について

坂口評議員より資料7に基づき説明があり、財務諸表、財務状況について報告された。

(6) 「令和元事業年度における剰余金の承認」について

坂口評議員より資料8-1、8-2に基づき説明があり、目的積立金が承認されたことが報告された。

(7) 令和3年度(2021年度)概算要求状況(コロナ禍を踏まえた取組)及び文部科学省からの概算要求状況の伝達について

坂口評議員より資料9-1～9-8に基づき説明があり、文部科学省へ提出した要求書について報告された。

(8) 平成31(令和元)事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間(平成28～31(令和元)事業年度)に係る業務の実績に関する評価について

津田評議員より資料10-1～10-4に基づき説明があり、業務実績及び評価、今後のスケジュール等について報告された。

(9) JSR株式会社との共同研究部門設置について(統計数理研究所)

椿評議員より資料11に基づき説明があり、統計数理研究所における共同研究部門の設置について報告された。

<意見概要>

- 受入額が少ないが、共同研究に係る費用という問題ではなく、アカデミーに対する投資として企業側には理解してもらい、政策的費用として集めるべきではないか。
- 寄付金も含めて、機構の戦略として目指すべきところを考えるべきだと思う。

<フリーディスカッション>

- 様々なデータベースを展開していくことで生じるセキュリティ問題については、コストも上がっていくのではないかとと思うがぜひお願いしたい。
- 情報研ではデータをどのように作りどう保全して、どう共有していくのか、というシステ

ムが最も基盤であると捉えている。また、データに付随する問題に関して研究者が悩まなく  
ていいような全体構造も考えていきたい。

●外部資金や寄附金等を増やすような方策を考えるべきではないか。

→戦略を持ちたいと思っているので、今後、議論しながら取り組んでいきたい。

●今後、データサイエンスが中核を担う中で、4機構が1つになった時にどのような共同研  
究ができ、どのような相乗効果があるのか、という話を今後聞きたい。

→今まさにそのことについて議論中のため、次回以降報告させていただく。

(次回の教育研究評議会の日程について)

・次回の教育研究評議会は、2021年1月22日(金)15:30から開催の予定。

以上

#### 《配布資料》

- ・令和2年度第3回、第4回議事要旨
- ・組織運営規則の一部改正について……………【資料1-1】
- ・新旧対照表(組織運営規則)(案)……………【資料1-2】
- ・令和元年度外部評価の概要について……………【資料2-1】
- ・外部評価委員会による評価結果対応表(案)……………【資料2-2】
- ・令和元年度外部評価委員会に対する取組(案)……………【資料2-3】
- ・研究教育職員に係る人事異動等について……………【資料3】
- ・第3期中期目標期間における「施設・環境整備及び教育・研究プロジェクト計画」の  
見直しについて(案)……………【資料4-1】
- ・情報・システム研究機構施設・環境整備及び教育・研究プロジェクト計  
画……………【資料4-2】
- ・令和2年度(2020年度)補正予算編成方針(案)……………【資料5-1】
- ・大学共同利用機関運営費(一般経費)補正予算(案)……………【資料5-2】
- ・令和元事業年度財務諸表(簡易版)……………【資料6-1】
- ・令和元事業年度財務諸表等……………【資料6-2】
- ・監査報告書(会計監査人)……………【資料6-3】
- ・監査報告(監事)……………【資料6-4】
- ・R1 財務状況解説データ……………【資料7】
- ・剰余金繰越承認通知書……………【資料8-1】
- ・繰越承認申請書……………【資料8-2】

- ・令和3年度共通政策課題分（コロナ禍を踏まえた取組）・・・・・・・・・・【資料9-1】
- ・令和3年度概算要求主な事項・・・・・・・・・・【資料9-2】
- ・「コロナ禍」「基盤的設備」要求額算定の考え方・・・・・・・・・・【資料9-3】
- ・令和3年度予算の概算要求の具体的な方針について・・・・・・・・・・【資料9-4】
- ・概算要求ポンチ絵（関係個所抜粋）・・・・・・・・・・【資料9-5】
- ・令和3年度文部科学省概算要求のポイント（科学技術関係）・・・・・・・・・・【資料9-6】
- ・新時代の学びの基礎となる通信環境整備（SINET関係）・・・・・・・・・・【資料9-7】
- ・令和3年度国立大学法人等施設整備概算要求事業について・・・・・・・・・・【資料9-8】
- ・平成31年度及び4年目終了時評価ヒアリングの概要について・・・・・・・・・・【資料10-1】
- ・平成31年度及び4年目終了時評価ヒアリング資料・・・・・・・・・・【資料10-2】
- ・平成31年度及び4年目終了時業務実績報告書・・・・・・・・・・【資料10-3】
- ・正誤表・・・・・・・・・・【資料10-4】
- ・JSR株式会社との共同研究部門設置について（統計数理研究所）・・・・・・・・・・【資料 11】